

少しずつ過ごしやすい季節になってきました。図書館の本をお供に読書の秋を満喫しませんか？

ふくろう通りの企画展

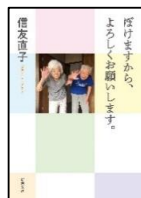
九州医療科学大学との連携展示 認知症展

【展示期間】9/9（水）～10/1（木）

毎年開催している九州医療科学大学附属図書館との連携展示を今年も開催します。今年は映像作品や文学作品に描かれている認知症の初期症状（もの忘れや日常の異変など）について考えることをテーマにパネルや関連する資料を展示します。どうぞご覧ください。

【展示の本から】

『ぼけますから、よろしく願います。』



信友 直子//著（新潮社）
認知症の母親と、介護する父親の生活を描いたドキュメンタリー映画の同名作品。認知症や老々介護の現実を記すとともに、認知症になった母に寄り添い、献身的に支える家族の記録を綴った作品。（図書館には映画のDVDもありますのでぜひご覧ください）

敬老の日におすすめする本展

【展示期間】9/5（土）～10/1（木）

9月21日は敬老の日です。この日にちなんで、図書館職員がおすすめする本を展示します。また、読書推進運動協議会が発行しているリーフレット「敬老の日 読書のすすめ」に掲載されている本も紹介します。リーフレットはお持ち帰り自由ですので、この機会に気になる本を探してみたいはいかがでしょうか。

【展示の本から】

『わたしの骨はどこへいく？』 安田 依央//著（集英社）



リーフレット「敬老の日 読書のすすめ」にて推薦されている本書。ひとりっ子、独身、他人に頼ることが苦手の著者が、自身が無事、骨となるのか？終活のその先に待っている「骨の行方」をたどるエッセイ。

ショートショート特集

【展示期間】9/5（土）～10/1（木）

「ショートショート」とは、数ページから数十ページで完結する短編小説よりもさらに短い小説のことで、アイデアの面白さや意外な結末が特徴です。

今回の展示では「ショートショートの神様」と呼ばれた作家、星新一さんの生誕100周年を記念してショートショート作品を特集します。なかなか本を読む時間がないという方もスキマ時間に読書を楽しめますので、この機会にぜひご覧ください！

【展示の本から】

『空白小説 書き出しと結びが決まっているショートショート』 氏田 雄介ほか//著（ワニブックス）



「吾輩は猫である」から始まり、「名前はまだない」で終わるなど、7つのテーマごとに書き出しと結びの文が決まっているショートショート作品集。1つの作品が数ページで終わり、「空白」部分の展開を想像しながら、手軽に楽しむことができる1冊。



災害の記録を振り返る ～皆さんは備えてますか？～



7月28日発生の「令和8年熊本地震」、8月13日発生の「令和8年8月千葉豪雨」はともに甚大な被害をもたらし、自然災害の脅威を再確認させられるとともに、日ごろの備えについて考えられた方も多いのではないのでしょうか。

延岡も自然災害は決して無関係ではありません。ちょうど20年前には平成18年9月17日に台風13号の接近に伴う竜巻の被害の記録があります。『竜巻、延岡を襲う!』（タ刊デイリー新聞社）によると1619世帯が被災、その内120世帯が全壊ということからも被害の大きさを物語っています。竜巻の影響で横転した特急列車の写真を記憶している方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

災害はいつ来るかわかりません。今月は「防災週間」（8/30～9/5）もあります。図書館では、地震や豪雨だけでなく、様々な災害に備えるための資料があります。この機会に、ご家庭や地域での防災対策を見直し、いざという時に役立つ知識を身につけてはいかがでしょうか。

【防災関係の本】



『食料備蓄はじめてBOOK 備蓄ノウハウ55』 高荷 智也//著（徳間書店）



『防災のプロが自分でやっている防災法を1冊にまとめた』 永田 宏和//著（アスコム）

司書のおすすめの本



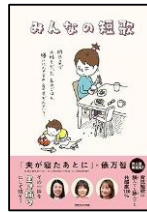
『朝日のあたる病院』

本城 雅人//著 (光文社)



大学病院の旧館を「朝日のあたる病院」と呼ぶ小児外科教授・外木場は、毒舌で完璧主義。専攻医の栗山たちは彼の指導に翻弄されながらも、医師としての覚悟と責任を学んでいき…。小児医療の厳しさと希望を描く医療長篇。

『みんなの短歌』 テレビ朝日「夫が寝たあとに」//著 (マガジンハウス)



テレビ朝日「夫が寝たあとに」発の育児短歌の本。子育てにまつわるできごとや思いにテーマを絞った短歌作りのコツを、MCの藤本美貴らが作った育児短歌とともに紹介する。

『名無辞典 決定版』

シモムラ//著 (朝日新聞出版社)



集合写真の欠席者に設けられたスペース。本人がいないところで言う誉め言葉…。身のまわりにある名前のない現象や行動を「日常」「分類」「表現」「生物」にカテゴライズ。どこをめぐっても名前がない新感覚辞典。

『ぼくへのレファレンス』

岩崎 まさえ//作 黒須 高嶺//絵 (国土社)



図書館での職場体験で、謎の少年から、不思議な形の記号に関する資料を調べてほしいというレファレンスを受けたリョウ。郷土史研究家を名乗るおじいさんから、記号に隠された秘密を教えてもらい、現地調査におかうことに…。

〔情報提供: 図書館流通センター〕

文学賞・作品賞から本を読んでもらう!



日本推理作家協会賞

1947年「日本探偵作家クラブ賞」として制定。1963年に同賞名に改称。のちに長編、短編、評論その他の3部門となった。2023年から新たに翻訳部門を新設。

第79回受賞作品
長編部門
『百年の時効』
伏尾 美紀//著 (幻冬舎)



【過去の受賞作品 長編部門】

『スワン』 呉 勝浩//著 (KADOKAWA)
『大鞠家殺人事件』 芦辺 拓//著 (東京創元社)

日本絵本賞

絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展を願って、優れた絵本を顕彰する賞。1995年より実施。1年間に日本で出版された絵本の中から特に優れたものに「日本絵本賞大賞」を授与。

『ある星の汽車』

森 洋子//著
(福音館書店)



『いま、日本は戦争をしている』

堀川 理万子//絵と文
(小峰書店)



第31回大賞受賞作品

第11回受賞作品

『天馬の子』 高瀬 乃一//著
(KADOKAWA)



第4回受賞作品
『即興がっく未来』



音遊びの会//著
(岩波書店)

渡辺淳一文学賞

豊富で多彩な作品世界を多岐にわたり生み出した渡辺淳一の功績をたたえた賞。人間心理に深く迫る豊潤な物語性を持った小説作品を顕彰するために創設。2016年に第1回を授与。

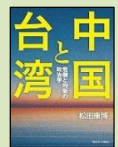
【過去の受賞作品】

『愚道一休』 木下 昌輝//著 (集英社)
『存在のすべてを』 塩田 武士//著 (朝日新聞出版)

読売・吉野作造賞

政治・経済・社会・歴史・文化の各分野における優れた論文・および単行本を顕彰する賞。2000年に創設。

第27回受賞作品
『中国と台湾』



松田 康博//著
(慶応義塾大学出版会)

音楽本大賞

すぐれた音楽本の存在をもっと知ってもらいたい、もっと多くの読者に届けたい、書店の音楽本コーナーを盛り上げたい、という願いから立ち上げられた賞。2023年に創設。



〈参考図書〉
『最新 文学賞事典
2019-2023』ほか

新刊案内(一般書・YA向け図書)

〈一般書〉



『誰何』 伏尾 美紀//著 (光文社)

東京都内で松川美和が孤独死した。だが親族によると松川は2年前に死去しているという。松川美和の部屋と、石狩で起きたひき逃げ事件の被害者宅で、北海道警察の警官だった新内由紀の、警官時代の名刺が見つかって…。



『筋トレ解剖図鑑 100歳まで歩ける最強筋肉の作り方』 坂詰 真二//著 (エクスナレッジ)

あらゆる体の悩みは筋トレで解決する! 週2日で体力向上、運動不足も即解消! 自宅でできるトレーニング法をイラストでわかりやすく解説。若さを保つために欠かせない、筋肉のつけ方や生活習慣などの知識が満載。



『チアリーマンズ軌跡 空飛ぶサラリーマンの挑戦』 山岡 大志//著 (徳間書店)

ただのサラリーマンで終わるはずだった自分たちが、もう一度夢を追う! 日本のみならず世界を沸かす、メンバー全員が現役サラリーマンの社会人パフォーマンスチーム「チームチアリーマンズ」の軌跡と、これからの未来を語る。



『るいちゃんねるの爆速親子ごはん 30分で3品が完成!』 高田 早希樹//著 (主婦の友社)

子育て中は、手間なく簡単に作れて、家族みんなで食べられるごはんがいちばん。「毎日の献立を考えるのがしんどい」という悩みを解消できるよう、30日分の晩ごはんの献立を紹介。副菜や、昼ごはん・朝ごはんのレシピも掲載。



『職場は未知の民族であふれてる 人類に教わるコミュニケーション技術』

松本 省吾//著 (東洋経済新報社)

部下、上司、お客様…なぜあのひととかみ合わないのか? 考え方が違う人と「手を取り合う」ために、人類学の視点を取り入れたコミュニケーション手法と、それを日常生活で上手に使えるようになるためのヒントを紹介する。



『衰えません、死ぬまでは』 宮田 珠己//著 (幻冬舎)

人生の運気を上げるため筋トレをはじめたが、続かないし、バターししみパンはやめられない。還暦を迎えた作家・宮田珠己が、老化にささやかな反抗を続ける日々を綴ったエッセイ。『小説幻冬』連載に書き下ろしを加え書籍化。

〈YA(ヤングアダルト)〉



『その本、発禁処分トスル』 村上 しいこ//著 かわい ちひろ//絵 (さ・え・ら書房)

文芸サークルの文芸誌創刊を喜ぶ啓志郎、愛菜、聖一に、発禁処分が突きつけられた。3人は、真実と文学の自由を求めて発禁処分の謎を追う。教師たちの思惑、大人の事情、40年前の事件…。二転三転の末、辿りついた真相とは?



『スポーツってなんだろう? あなたと考えたい自由にスポーツを楽しむこと』

平尾 剛//著 (平凡社)

体育が苦手。部活でレギュラーになれない。監督やコーチの指導が厳しい。競争がしんどい…。スポーツをもっと自由に楽しむにはどうしたらいい? 勝ち負けだけじゃないスポーツの楽しみ方を伝える。

新刊案内(児童書)

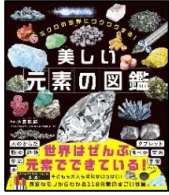
〈児童書〉



『このあと、どうなる? くうきのひみつ』

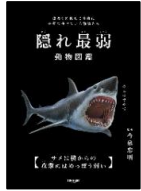
いわママ//監修(PHP研究所)

細かく切った紙に息をふきかけてみよう。このあと、どうなる? 水を入れたお皿に浮かべた小さなヨットのおもちゃ、温かい飲み物などに、息をふきかけてみると…。小学校理科の学びを楽しく後押しする実験写真絵本。



『美しい元素の図鑑』 小森 和範//監修(ナツメ社)

人のからだ、動物、植物、空気、水、タブレット、食べ物…。世界はぜんぶ元素でできている! 118の元素の性質や使い道を、元素自体の魅力的な写真や関連する写真とともに解説する。切り取り式の元素周期表付き。



『隠れ最弱動物図鑑』 今泉 忠明//監修(サンマーク出版)

最強動物たちがひた隠すせつない弱点とは? サメは横からの攻撃にはめっぽう弱い、ティラノサウルスは体が大きすぎて疲労骨折する…。強いと思われているが、隠れた弱点をもった動物を豊富に紹介する。



『ありがとうをはんぶんこ』 工藤 純子//作 まつながもえ//絵(岩崎書店)

いつも隣の席のあおくんを助けてあげている、小1のゆうき。ある日、学校の帰り道で1円玉を拾った。交番に届けなくてはと思うけど、勇気が出ない。そこへあおくんが通りかかり…。困った時は助け合う、勇気をもらえる物語。



『これはただのおりがみ』 reko//さく(Gakken)

これは、ただのみどりのおりがみ。そこに牛が一頭いると、みどりのおりがみは、なんに見える? ページをめくると、ただのおりがみが、いろんなものに見えてくる! 想像力や発想力が育つ絵本。



『トリのとりちがえ』

内田 麟太郎//文 高島 那生//絵(文研出版)

「ぼくはトリだから、とりかえしがつかないことなんてないなあ」とつぶやいたトリ。そんなことはありません! ああのトリの羽はうちわ、あのトリの羽は羽子板ととりちがえられていて…!?

[情報提供:図書館流通センター]

延岡市立図書館カレンダー

9月

月	火	水	木	金	土	日
	1 こども映画会	2 えほんのじかん	3 おはなし会	4 資料整理 休館日	5	6
7 休館日	8	9 えほんのじかん	10 おはなし会	11	12	13
14 休館日	15 こども映画会	16 えほんのじかん	17 おはなし会	18	19	20
21	22	23	24 おはなし会	25	26	27
28 休館日	29	30 えほんのじかん				

10月

月	火	水	木	金	土	日
			1 おはなし会	2 資料整理 休館日	3	4
5 休館日	6 こども映画会	7 えほんのじかん	8 おはなし会	9	10	11
12 祝日開館	13	14 えほんのじかん	15 おはなし会	16	17	18
19 休館日	20 こども映画会	21 えほんのじかん	22 おはなし会	23	24	25
26 休館日	27	28 えほんのじかん	29 おはなし会	30	31	

開館時間 【火～金】9:00～19:00 【土日祝】9:00～17:00 ※時間外の返却は、返却ポストをご利用ください。

【えほんのじかん】10:30～11:00 対象:0～3才程度 場所:おはなしのへや

【おはなし会】16:00～16:30 対象:未就学児 場所:おはなしのへや

【こども映画会】毎月第一・第三火曜日 (15:00～15:30) 場所:おはなしのへや

※詳細はHPやInstagramをご覧ください



図書館HP



Instagram